

“建設業界の発展”のために協働できること

私たち総合資格学院は、建設業界の振興を目的とし、様々なかたちで全国の建設系団体や地方自治体と協働させていただいております。

その活動は設計展の支援から、講演会の支援や当学院合格者の入会幹旋まで多岐にわたりますが、ここではその取り組みの一部をご紹介します。今後も、No.1スクールの自覚を持ち、この様な活動を通じて建設業界に貢献して参りますので、各種イベントや企画に関するサポート等については、お気軽に最寄りの当学院までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

一社) 東京建築士会 × 総合資格学院

住宅課題賞 ～建築系大学住宅課題優秀作品展～

東京建築士会の主催による設計展「住宅課題賞」は、建築を学ぶ学生のみならず、建築の基本である住宅の設計を通して建築への興味とその社会的意義の認識を深めるとともに、大学間、第一線の建築士との交流によって、建築教育の情報交換と向上を図る目的で開催されています。当学院が発行する本展記録集では、各校から選出された48作品すべてを各4ページで紹介し、作品紹介と一緒に課題文や指導教員のコメントも併せて掲載しています。



住宅課題賞2017記録集

- オールカラー1作品4ページで詳細を紹介
- 指導教員のコメントや各大学の課題文も掲載
- 豪華審査員による公開審査のドキュメントを収録



受賞者と審査員



建築士会 × 総合資格学院

願書提出会場 / 合格祝賀会

当学院では各都道府県の建築士会様と共同し、建築士試験願書提出会場で教材の無料配布など受験生支援の活動を行っています。また、受講生の願書チェックなど受験申込をスムーズに終わらせるようサポートも行っています。毎年一月に全国で開催される合格祝賀会では、建築士会の皆様を来賓としてお招きし、建築士会の活動を知っていただくとともに、会員募集の場をご提供させていただいております。



願書提出会場の模様



合格祝賀会の模様

公社) 高知県建築士会 × 総合資格学院

サマーセミナー in Kochi

高知県建築士会が主催する歴史あるイベント。高知県内の建築士・学生及び業界人、建築文化に興味のある一般の方々へ、国内外で活躍する建築家を招き、建築に対するポリシーや考え方を聞く機会を提供し、建築文化の発展に寄与することを目的として開催されています。



公社) 奈良県建築士会 × 総合資格学院

TOYO ITO at YAKUSHIJI 「建築の夢」

当学院学院長がその理念に共感し、長年にわたり活動を支援する、日本を代表する建築家伊東豊雄氏を招いての、名利を舞台とした地域色溢れる講演会。



総合資格学院は1級建築士試験も2級建築士試験も「日本一」の合格実績!

2018年度 1級建築士 学科・設計製図試験

東海4県 ストレート合格者占有率



東海4県ストレート合格者156名中、当学院当年度受講生99名 (2018年12月20日現在)

2018年度 1級建築士 設計製図試験

東海4県 合格者占有率



東海4県合格者366名中、当学院当年度受講生219名 (2018年12月20日現在)

2018年度 2級建築士 設計製図試験

当学院 当年度受講生 合格者数



※全国合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※全国合格者5,997名中、総合資格学院合格者2,179名・日建学院合格者2,137名・その他合格者1,681名 ※前記、合格実績および合格者の内訳は2018年12月11日現在のものです。 ※出典: http://www.kaknet.co.jp/nikken/index.aspx

●2018～2014年度 1級建築士設計製図試験 全国合格者合計18,164名中、当学院受講生10,427名 全国合格者占有率56.5%
●2018～2014年度 1級建築士学科・設計製図試験 全国ストレート合格者合計8,080名中、当学院受講生5,004名 全国ストレート合格者占有率61.9%
※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会(No.1表示に関する実態調査報告書)に基づき掲載しております。 ※全国/都道府県合格者数およびストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※学科・製図ストレート合格者とは、1級建築士学科試験に合格し、同年度の1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。 ※総合資格学院の合格実績には、模範試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

静岡校
静岡市葵区伝馬町 9-1 河村ビル 5F
TEL:054-275-3311 FAX:054-275-3301

浜松校
浜松市中区中央 3-9-3 UNビル 2F
TEL:053-456-2211 FAX:053-456-2261

沼津校
沼津市高島町 6-3 アゼル沼津ビル 1F
TEL:055-930-2621 FAX:055-930-2622

総合資格学院

スクールサイト www.shikaku.co.jp
コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp
総合資格 検索 Facebook 「総合資格 fb」で検索!

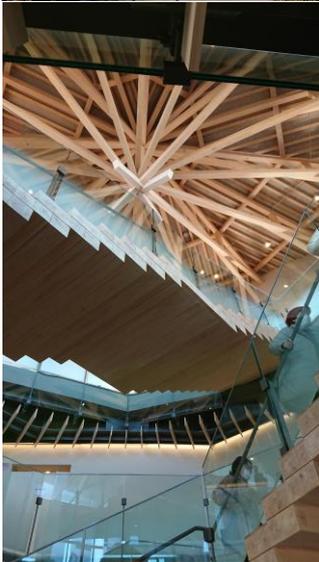
1級・2級 建築士 構造設計1級建築士 設備設計1級建築士 建築設備士 1級・2級 管工事施工管理技士 1級・2級 建築施工管理技士 1級・2級 土木施工管理技士 宅地建物取引士 インテリアコーディネーター 賃貸不動産経営管理士

KENCHIKU SHIZUOKA Public relations magazine



特集 ■静岡県の展望施設

日本平夢テラス



Contents

- 1 目次
- 特集
 - 2 静岡県の展望施設
日本平夢テラス
- 旅日記
 - 4 たび日記
寸又峡に展望を探しに行こう
- 特集
 - 6 静岡県の展望施設
浜名湖オルゴールミュージアム
富士山静岡空港石雲院展望デッキ
薩埵峠
十国峠ケーブルカー
- コラム
 - 8 コーヒーブレイク
“ エシカルな家づくり ” 星野浩二/中部ブロック
“ 4K放送 ” シュタイクアイゼン/西部ブロック
- 連載
 - 9 シリーズ「ハイブリット社会に生きる」
住宅資産研究所 倉田剛
- 連載
 - 10 しずおか木造塾（第3回講座）
しずおか木造塾委員会 山下晋一
しずおか木造塾（第4回講座）
しずおか木造塾委員会 早津和之
- 委員会報告
 - 12 東海北陸ブロック大会
本会青年企画委員会 小野田知矢
- - 14 SHEC まちづくり会議
静岡県ヘリテージセンターSHEC 塩見寛
- 連載
 - 15 景観整備機構【瓦版】
景観整備機構・まちづくり委員会・藤森 輔
- お知らせ、編集後記
 - 16 事務局からのお知らせ、入退会者
編集後記・ご意見募集

地盤調査からコンクリート杭・PC基礎の
製造・施工まで対応

目立たない安心を お届けします

詳しくは、ホームページで ▶ 野村商店 🔍

www.nomuragroup.com



NOMURA
Since 1922

株式会社
野村商店

伊東営業所 TEL.0557-45-2245
伊豆南営業所 TEL.0558-22-3655
熱海営業所 TEL.0557-82-1244
伊豆中央営業所 TEL.0558-76-3114
御殿場営業所 TEL.0550-83-1306
沼津営業所 TEL.055-941-7020
静岡営業所 TEL.054-284-3461
基礎事業部 TEL.054-284-3461
浜松営業所 TEL.053-422-3636

「富士を結ぶ、木組みの架け橋」

— 八角形で繋ぐ、日本の風景と伝統技術 —

■ 施設背景

◇ 日本平の位置づけ

日本平は、世界遺産である富士山をはじめ 360 度の優れた眺望が可能である、日本を代表とする景勝地で、文化財保護法に基づく名勝指定を受けています。静岡市が平成 22 年度に策定した「名勝 日本平保存管理計画」において、公開・活用への方針が打ち出され、「風景美術館＝日本平」をテーマとした公園整備が進められています。

◇ 整備目的とプロポーザル

富士山の世界遺産登録や久能山東照宮の国宝認定等の効果や、今後、東京オリンピック・パラリンピック等の開催により、国内外から本県への来訪客の増加が見込まれることから、日本平の価値や魅力を伝える施設の設計をプロポーザルにより国内から広く公募し、設計者選定を行いました。

■ 建築物概要

- ◇ 建築名称：日本平夢テラス
- ◇ 建築主：静岡県（シンボル施設）、静岡市（展望回廊）
- ◇ 所在地：静岡市清水区草薙 600-1
- ◇ 設計：建築 隈研吾建築都市設計事務所
- ◇ 施工：建築 木内建設 株式会社（シンボル施設）
電気 株式会社 東海電気工業所（ 〃 ）
機械 旭産業 株式会社（ 〃 ）
- ◇ 構造：鉄骨造 一部 木造
- ◇ 階数：地上 3 階
- ◇ 建築面積：472.38 m²
- ◇ 延べ面積：964.70 m²
- ◇ 工期：2017 年 11 月～2018 年 9 月



シンボル施設



全方位を司るシンボリックな八角形

■ 設計コンセプト

意匠・計画 Design・Planning

◇シンボル施設（八角形の展望の杜）

「360度開かれた八角形プランニング」

360度開かれた八角形の平面形状とすることで誰もが訪れやすい施設とし、人と景観、人と人との架け橋となるプランニングとしています。また、正八角形は、全方位を司るシンボリックな形状であり、富士山をはじめ、各方位の眺望を味わうことができます。

◇展望回廊（八角形の木組みブリッジ）

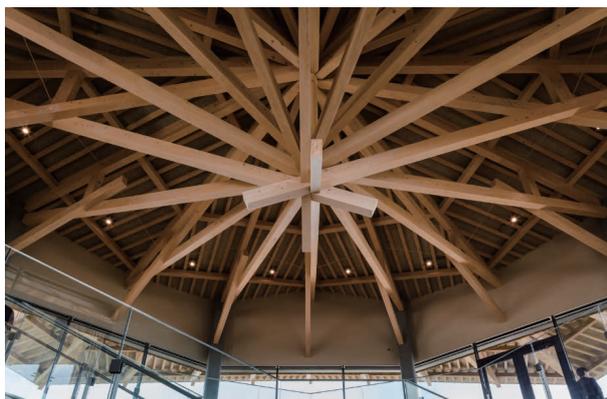
1周約200mの正八角形の形状とすることで、シンボル施設に呼応する回廊としています。吟望台とシンボル施設3階の展望デッキとをフラットに繋ぐことで、八方向に広がる展望と回遊性を生み出しています。また、市産木材を活用したベンチを配置し、ゆったり眺望できるよう配慮しています。

構造 Structure

■ 高い鉄骨精度と木架構の匠の技術を融合させた建築物

本建築物は、柱・梁共に鉄骨造ですが、屋根部は、柱に設置したリブプレートから120×210サイズの県産ひのき材32本を中心軸部に集め、支え柱のない吹抜け空間を実現しています。

建築物は直接基礎で、外周部の8本の柱で荷重を支えています。3階の柱は1・2階の柱の位置に比べ約2.7m内側に寄っており、外部のデッキを大きく確保するとともに建物全体のフォルムをシャープに魅せています。このため、3階の柱は2階の梁上に設置しており、3階柱が載荷される大梁は、BH-438×560×28×40のサイズを採用しております。



5段の木組みにより実現した吹抜け空間

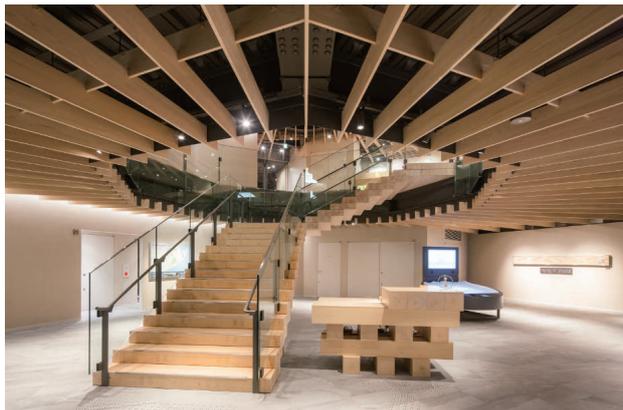


雨樋を設置していない屋根先端

階段 Stairs

■ 美しい職人技

内部の吹抜け部には、鉄骨のささら桁の存在をまったく感じさせない職人の加工技術により、印象に強く残る15cm角のひのき階段が造り上げられています。



鉄骨下地を感じさせない内部階段



階段両端のひのき断面・踏板はバーチ材

たび日記

No.09 寸又峡 前黒法師岳

今回特集で静岡県の展望施設を企画しまして、景観の良い所を紹介しました。掲載していないところで何処かたび日記で行ってみようかと思ひ寸又峡でいいかと思ひつきまして、せっかくだから寸又三山に登って見ようと去る大雪の予報があった翌日の2月某日行って来ました。2月の厳冬期に寸又三山に登る物好きはあまりいないでしょうし、会員の皆様への参考になればと頑張ってみました。早朝に寸又峡駐車場を出発し早速、天然記念物ニホンカモシカのお出迎えです。

最初から結構な急登をいきますと、湯山集落跡の看板がありました。今は石垣しか残っていませんが、こんな険しい山麓に集落があったとは驚きです。



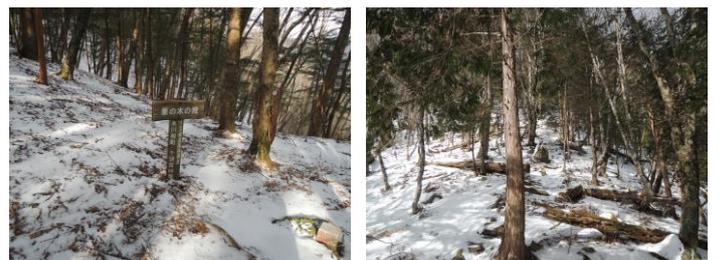
ニホンカモシカ モニュメント



湯山集落跡看板と石垣

駐車場から登山口まで約1時間そこから約1時間30分登って栗ノ木段に着きました。結構な積雪です。麓に雪が無かったので油断していました。ここからは気を付けていきましょう。山頂まで残り約3時間です。

今回は寸又三山で一番高い前黒法師岳(1943m)を目指します。前日の大雪予報で心配しましたが、麓に積雪はありませんでした。登山口を目指し、夢の吊り橋橋方面へ向かいます。夢の吊り橋は帰り寄ることにしまして、その先の飛竜橋を渡り前黒法師岳登山口へ。



栗ノ木段

森林帯をいきます

ここまで、登り始めの所では人の足跡がありましたが、雪が積もり始めてからは人の足跡さえありません。まっさらな雪の上をマーキングを頼りに登ります。



寸又峡温泉



もう一つの寸又三山 朝日岳



登山ルートへのマーキング



イワカガミは雪の下



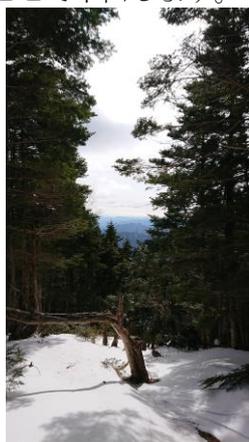
広報情報委員 塩見敏弘

更に深くなる積雪に登山を後悔し始めた頃、展望所の看板がありました。しかし周囲に展望台の様な物は無くもしたしたら、そこにある大きな枯れ木がそうなのか。木の上には雪が積もっていて転落したら谷底です。しかし展望施設の特集をしている使命感から意を決して登ってみました。結果、微妙な景観でしたが掲載します。



展望所の看板と景観 雪の無い展望所の樹ネットで購入しました

展望所を後にして膝下までの雪を必死でかき分けついに山頂に到着です。駐車場から約5時間30分でした。途中、人には誰にも会いませんでした。足跡さえありません。ちなみに動物にも会いませんでした。足跡はありましたが。山頂は期待していたほど、景観はよくありませんでした。(樹木はあって良く見えません)ここから更に黒法師岳方面へ向かうと、素晴らしい展望が望める所があるそうなのですが、ここで下山します。

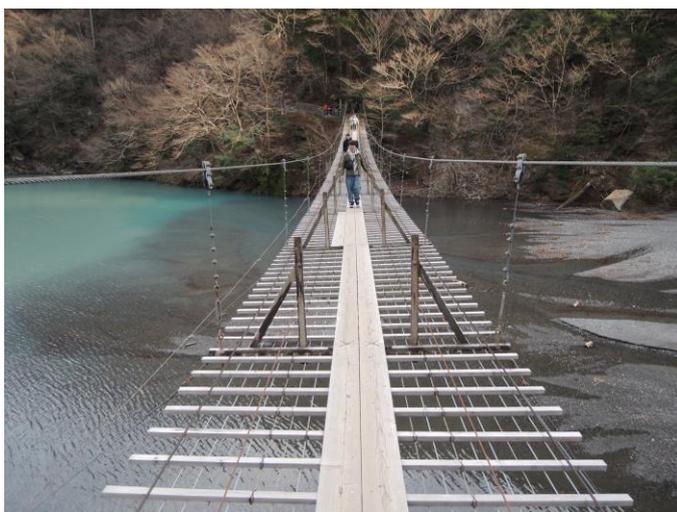


前黒法師岳山頂と山頂からの景観

山頂で昼食後、バーナーのガス管が凍り、手足の指先が痛くなるほどの寒さを感じてきたので、一目散に下山します。雪で足を滑らせないように細心の注意を払い無事、下山しました。しかし、登山中最後まで人には出会いませんでした。リスには一匹会いましたが。下山したら、尾崎坂展望台経由で夢の釣り橋へ向かいます。吊り橋は観光客で大変にぎわっており、決して寸又峡にこの時期観光客が少ないわけではありません。登山をする物好きがいらないだけの様です。



尾崎坂展望台



夢の吊り橋

今回のたび日記は寸又峡で登山を試してみました。いかがでしたでしょうか。2月に登山をされる方は十分な装備でお出掛け下さい。日帰り温泉にも入れます。





特集 静岡県の展望施設

日本平夢テラス以外にも風光明媚な静岡県にはたくさんの方の展望を目的とした建物があります。その中で広報委員が独断で選らんだいくつかを紹介いたします。

■浜名湖オルゴールミュージアム

浜名湖オルゴールミュージアムは浜名湖を一望できる湖上を渡るかんざんじロープウェイに乗り大草山の山頂にあります。100年前のアンティークオルゴールなどを展示してある博物館で屋上の展望台は浜名湖を一望できます。



浜名湖オルゴールミュージアム
 浜松市西区館山寺町 1891
 9:00~16:00 (土曜日・祝日は16:30)
 季節によって営業時間・休館日が変わります。

■富士山静岡空港石雲院展望デッキ

石雲院展望デッキは富士山静岡空港ターミナルビルの東に建設された施設で、飛行機の発着や周囲の展望が楽しめます。近隣にある名刹の石雲院にちなんで禅の極意である円形のデザインになっています。施設にはガラス張りの休憩スペースがあり無料の呈茶、カフェコーナーでお茶をしながら飛び立つ飛行機を見ることができます。



富士山静岡空港 石雲院展望デッキ
 牧之原市坂口 3336 番地 4
 6:00~21:30
 休憩スペースは土日祝日の11:00~15:00

■薩埵峠

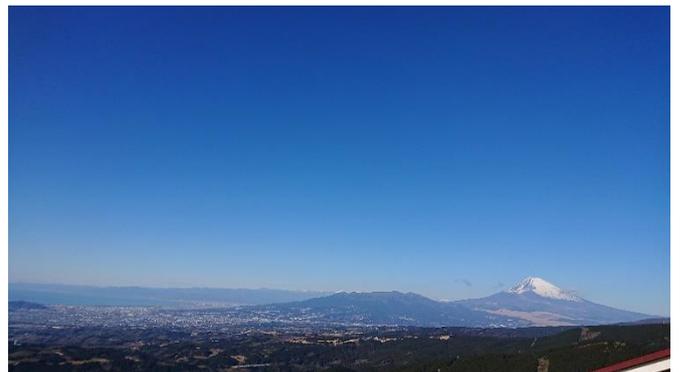
歌川広重の「東海道五十三次・由井」であまりに有名な薩埵峠からの富士山。展望施設の建築物はないのですが、(木製の展望台はあります。現在使用禁止)個人的に「キリンが海に飛んだ場面」の思い入れから選んでみました。狭い峠までの道を行き、約6台しか駐車できない駐車場に車を止め、少し歩くと展望所に着きます。四季を通じて様々な景色が堪能でき、暗くなってからの道路を走る車のライトや明け方の少し明るく照らされた富士山など、様々な景観が楽しめます。



薩埵峠展望台
静岡市清水区由比西倉澤 937-13
24時間営業

■十国峠ケーブルカー

十国五島を見渡すことができる十国峠。県道20号(熱海箱根峠線)の十国峠レストハウス登り口駅からケーブルカーに乗って十国峠山頂へ。江戸時代にはすでに有名な景勝地だったそうで、山頂からは北に富士山、西に駿河湾、東に相模湾を見渡せ、雄大な景観を堪能できます。十国峠駅は2階が展望フロアとなっており、360度廻りが見渡せる円形の形状になっています。頂上へは姫の沢公園から徒歩にて45分で行くこともできます。



十国峠ケーブルカー
田方郡函南町桑原 1400-20
8:50~16:50
年中無休

エシカルな家づくり

星野浩二／中部ブロック

昨今はネット通販の普及により、時間や場所を気にせず、気軽に商品やサービスを購入することができます。一方で、蚤の市や軽トラ市など、昔ながらのストリート販売がまちづくりとして人気を集めるなど、消費環境は多様化しています。私達は日々の生活の中で消費を行います、その視点を少し変えるだけで、社会や環境などに変化をもたらすことができます。

エシカル消費という言葉を知ったことがありますか？エシカル (ethical) とは英語で倫理的・道徳的と訳され、エシカル消費とは、消費者が自分だけでなく、社会や地球環境にとって望ましい商品やサービスを選ぶ消費行動を言います。具体的には、社会への配慮として障害者の作ったものを選ぶ、環境への配慮としてエコマーク付き製品を選ぶ、地域への配慮として地元商店街で買い物をするなどです。つまり、消費者の手元に届くまでの生産過程や消費後の廃棄に至るまで、物のライフサイクルを意識して選ぶことです。

家づくりでもこの考え方に通ずるところがあります。地域の気候風土に合ったデザインは、環境負荷を最小限に抑え、いえなみの景観にも配慮できます。地場の伝統的な建材を使った工法を選ぶことは、地産地消、つまり物流負荷の軽減や地場産業の振興に繋がります。また、敷地内にビオトープや家庭菜園を設置し住まい手の持続的な活動を誘導する、省エネ実現のために太陽光などの再生エネルギーを活用する、林業活性化と森林保全のために県産木材を利用するなど、実践例は多くあります。

このように、エシカル消費を理念とした家づくりは、住まい手の心を豊かにし、暮らしにおける満足度を大きく向上させます。建築士は、家づくりという消費行動の支援を通じて、社会の改善と発展に積極的に参加できます。

さて、週末は安くて新鮮な地場の野菜や果物を求めて、農産物直売所の朝市に行くのが習慣になりました。それぞれの商品には生産者の名前が書いてあり、その方の容姿や人柄、農場の風景など、自分で勝手に想像するのも、この消費行動の一つの楽しみです。

4K 放送

シュタイクアイゼン / 西部ブロック

4K 放送が 2018 年 12 月から開始されました。以前から 4K チューナー内蔵や対応テレビへの買い替えを促す広告もよく見かけました。この“4K 放送”、地デジへの移行時と違ってなんだか非常にややこしいです。テレビ買い替えなきゃなの？今までの放送はどうなるの？いったいどうすれば？の疑問もよく聞いたりします。で、僕なりに簡単にまとめてみました。今回放送が始まるのは“BS4K 放送”です。地上波についてはまだ時期は未定です。現行放送の画質は“地上波 2K=155 万画素”“BS 放送=207 万画素”それに対して“BS4K 放送=829 万画素”で高画質です。それを限られた周波数帯で送信するには、多くデータ量かつデータ圧縮率を上げて放送する事が求められます。その為放送設備、受信設備の両方を変える必要があり、衛星波では衛星等の送信機器の変更に加え、従来の BS 放送の画質を落とし左旋円偏波を導入して周波数帯の有効活用をはかりました。で結果僕らは“4K 対応テレビ+外付けチューナー”“チューナー内蔵テレビ”に加えて、アンテナ・分配機・分波器・ブースター(一部既に対応済)までも交換が必要となりました。しかしあくまでも 4K 放送のチャンネルが増えるのであって、従来の地上波、BS 放送は維持されます。例え買い替えしなくても何ら生活に支障は出ません。BS 放送の画質が若干落ちるだけです、ま～中にはそれを支障と感じる人もいるかもですが。それに対して地上波の 4K 化は話が違ってきます。今現在、地上波はチャンネルの追加は無理筋であり“4K 地上波放送”をする場合現在の“2K 地上放送”は停止となります。つまり日本の総てのテレビの交換またはチューナーを増設、さらに総てのアンテナ等機器の交換が必要となります。そして日本中にある総ての地上放送設備(電波塔等)の変更が必要となり、衛星の送信設備変更とは桁違いの労力と資金が必要です、さらに視聴者へ影響や負担が非常に大きいです。なので地上波の 4K 化はおそらくまだまだ先と思われ、巨大テレビでも買わないのであって、特別画質にこだわらなければ、ま～特に何もしなくても影響は出ないという事ですね。もちろん高画質な世界を体験したい方は今すぐ家電屋へGOです。



『交通インフラと地域のサステナビリティ』

倉田 剛*

わたしたちが、「健康で文化的な最低限度の生活」を維持し継続させるためには、「移動」は必要不可欠条件となる。「移動」が困難な地域、すなわち交通インフラが整備されていない地域には、移動手段を持たない高齢者世帯は暮らせない。地域のサステナビリティ（維持継続性）は、交通インフラに大いに依存していることにも気付く。しかし皮肉なことだが、高齢化が進行する地域ほど交通インフラの後退が深刻化して、陸の孤島状態に陥る地域はこの先も増えていく。交通インフラといえども財政的な採算性や効率性が優先されていて、生存権的な必要性は二の次にされているからだ。交通弱者の声は小さくて、政府には届かないからだ。

近頃、「交通弱者」という文言をよく目にする。日本の場合の「交通弱者」とは二通りの意味で使われている。一つは「自動車中心の社会で移動を制約される人」、いま一つは「交通事故の被害に遭いやすい子供や高齢者」を意味している。交通インフラが未整備な地域に居住している高齢者は、前者の交通弱者に該当するし、同時に、後者の交通事故を起しやすい高齢者ドライバーとも理解できる。最近、社会問題視されている、高齢者による交通事故の多発は交通インフラの後退とは無関係ではない。

昨年末、筆者も高齢者対象の運転免許更新講習会に参加した。受講者の身体能力の低下は当たり前だが、運転操作に最低限必要となる判断力や認知能力にも重篤な問題を抱えている受講者が多いことにまず驚いた。早晚、筆者にも起こることだが……。

さっそく、待ち時間に受講者たちの話を聞いてみた。彼らの多くが、「多少不安でもクルマを運転しなければ日々の生活が維持できない、買物に行くにも、医者に診てもらっても、バスは便数が少なくて利用しにくい」と話していた。高齢者がぎりぎりまで運転する背景には、そうした交通インフラの未整備や欠落がみえる。高齢者ドライバーたちにしても、自分が交通事故の加害者になるかもしれない不安もあるし、またクルマを所有する維持費も家計を圧迫している。だから公的な交通機能が整備されているならば、高齢者の免許返納者は増える、事故件数も減少する、そしてバス利用者も増えるであろう。

後期高齢者たちがクルマを運転するのは、生存権的な必要性に基づいた自衛的な移動に必要なからだ。しかし加齢とともに認知症などのリスクも高まるし、経済的負担も軽視できないリスクとなってくる。そうした事情を抱えた高齢者世帯の生活を支えているのが地域包括支援センターだが、その施すサービスにも自ずと限界がある。

政府は、高齢者世帯の自立支援や在宅医療・介護支援策などを声高に唱えている。ならば、直截的な必要性が高い、交通弱者の安全・安心な移動手段の確保・支援を優先的に施策してほしい。「交通弱者」は、即ち「買物弱者」であり、「医療弱者」と同義だけに等閑視していると深刻な問題に発展するからだ。

東日本大地震以降、地震による津波への不安からか高台の住宅地に移り住む世帯が増えている。沼津市の高台でも、あちこちで茶畑などが小規模宅地に転用されて、若い世帯が増えてきている。そうした新興住宅地のほとんどの家が2～3台のクルマを持っている。若い世帯では、当初から移動手段はマイカーであり、バスの利用は想定外だ。だから地域に世帯数が増えてきても、バス運行会社の採算性は一向に改善されない、したがって運行便数を増やすまでに至らない。

そうした地域の高齢者世帯にすれば、この先も相変わらずクルマの運転が余儀ない日常が続くことにもなり、終には不本意な棲み分けも止む無しとなりそうだ。

筆者も、数年前から高台に移り住んでいる。東京などに掛けるときは、有料駐車場を使うクルマよりもバスを利用したいのだが、現在の少ない運行便数では難しい。将来、年取ってクルマを運転しなくなったときは、何処か交通便の良い場所に住み替えなければならぬまいと、いまから覚悟している。

最後に提案なのだが——もちろん法的な制約があることは承知の上で——思い切って「民力」の積極的活用策も検討されたら如何であろう。本稿でいう「民力」とは、退職してからも元気でマイカーを運転しているシニアたちであり、彼らのクルマもセットで想定している。まずは市民団体であるNPO法人を立ち上げて、一定条件に適った「クルマとドライバー」を登録する。行政の方は、NPO法人に、交通弱者を対象にした移動支援サービスを委託するといった構想である。利用者の方も、地域包括支援センターを絡めながらの登録制とする。この「コミュニティ・ライドシェア・システム」とも称すべき構想では、元気なシニア層にも地域の交通インフラの一翼を担ってもらうことから、公助と共助の一石二鳥の効果も期待できそうだ。

まずは隗から始めよ。

* 一級建築士・博士（経営学・法政大学）、博士（経営情報科学・愛知工業大学）、NPO法人リバースモーゲージ推進機構・理事長、一般社団法人住まいの年金化事業促進センター・代表理事、(tysfb25@gmail.com)

2018しずおか木造塾 第3講座 (木のデザイン・居場所づくり)

しずおか木造塾委員会 山下 晋一

平成30年11月17日に静岡市の県産業経済会館

第1部「木材の魅力を活かす地域デザイン」

講師：南雲勝也氏(ナグモデザイン・東京)

まちづくりには、地域に生活し、育ててゆく人々が楽しく、気持ちよく、感動しながら続けられる仕組みが必要。そこから物語が生まれ、風景になる。デザインはその為の作業で、誰もが使う事ができる杉などの地域材を使う事で、未来に繋がってゆく。

□「東京駅から皇居までの駅前通りと行幸通り」

地域材を使うことで、訪れる人々の記憶に埋め込む。日本発信で誇れるデザインを心掛け、日本から世界に広げる空間ができた。

□「姫路駅北広場整備」

駅前に眺望デッキが完成。丸太から板が、板から家具が、それを駅前でする。全国からアイデアを募集する。根本的に大事なものは"良いデザイン"。

□「岐阜高山駅の自由通路、西口広場、東口広場」

デザインに高山ヤタイ(山車)の技術を取り入れ、道具やパーツの実物を展示する。木によって文化的なレベルの高さを表現した。

□「地域材を使ったヤタイ(屋台)の魅力」

岩手県住田町の引退した気仙沼大工によるものづくりの技術を活かして木のヤタイを地元木材と鉄でつくり、学校の机やイスもつくった。富山県立美術館のアプローチや岩手県大槌町などでも地域材を使ってヤタイをつくった。震災後の何もなくなった所に、明かりを灯す。ヤタイが人をつないでいる。誰でも造れるようにデザインも工夫した。

木と鉄と石は、地元に戻元できる最低限の素材だ。

第2部「超高齢化社会の居場所づくり」

講師：大月敏雄氏(東京大学大学院 教授)

□「地域包括ケアシステム」と「住宅スゴロク」

高齢社会の目標は、「地域包括ケアシステム」を完成することであるが、その中心にある「住まい」の議論が全く無い。住宅の造り手側もこのシステムの事を全く知らない。1973年「住宅スゴロク」の「上がり」は庭付き郊外一戸建て住宅だったが、2007年「新住宅スゴロク」では、上がりが6つになっていて、人生のスパンで住宅を考えることが必要となった。

□ポイントは「居場所」づくり

町のあちこちに「主感」のある場をつくる。新しい街でもキッカケがあればコミュニティが起こる。年寄りの女はコミュニティの場に来るが、男は一人で家にいる。

例えば蒲原の町で、古くからある街角には男子高齢者が集まる居場所がある。バスに詰め込んでどこかのデイケアに連れていくより、この街角をそのままデイケアセンターと認定したい。

町全体を居場所にするために、まずは小さな居場所で住まいと町を繋ぐ。例えば縁側。

日当たりの良い南側に高齢者を動かし、近所との出会いや会話が発生し、居場所になる。

一人でも多人数でも居場所はできる。一人の居場所が多人数の居場所にもなる。

システムではなく、町で考える。町の「居場所」で地域包括ができるのだ。

□近居とGターン

家族で近居を考える「戸建て賃貸」が人気。

同じ地域の中で引っ越す「Gターン」。必要なのは、住宅の多様性である。

2018しずおか木造塾 第4講座 (換気・家づくり)

しずおか木造塾委員会 早津 和之

平成31年1月19日に静岡市の県産業経済会館

第1部「換気について考える」

講師：南 雄三氏(住宅技術評論家・東京)

換気は、2003年シックハウス法制定により全館空調に走り出し、その動きの中に含まれてしまった。しかし、今年『建築技術1月号』はテーマとして「換気」を取り上げた。

・「換気」の目的は、空気清浄と結露防止である。

外気が化学物質やPM2.5 などにより最近汚れ出した。部屋の内部の開放型ストーブも内部の空気を汚し、結露を誘発する。一方、煙突はすばらしい発明。

□高气密・高断熱の定義

・断熱、気密、暖房、換気の4つのバランスづくりの中で、換気ができてきた。"計画換気"のためには、出入口を明確にすることが必要で、そのためには建物の気密化が求められる。気密の性能はどの程度、必要か？

第3種換気は気密性が低いと2階から空気が入らず、結露が発生する。

- ・隙間相当面積を2cm/m²以下にする。
- ・熱交換は日本では顕熱交換より全熱交換が採用され、ロスナイに力を入れてきた。

第2部「大逆転のHOME嵐(ホームラン)」

講師：南雄三氏(住宅技術評論家・東京)

□資産になる家・負債になる家

- ・海外の街並みは美しい。日本では家を買った途端に負債になるが、欧米では資産価値は上昇する。更にメンテナンスをして磨きをかける。
 - ・中古流通の市場はマンションが2/3を占める。
 - ・リフォーム市場は5兆円程度で増改築は少ない。
- おススメ本＝「パリ住み方の記」(戸塚真弓著)

□"リフォーム"と"リノベ"の違い

- ・"リフォーム"は施主がオーダーして修繕。
 - ・"リノベ"は、空き家を買取り再販する。
 - ・空き家が低価値だから成り立つ。再生で街が生き返る。
- ⇒"リノベ"はHERO

□海外の介護高齢者住宅

- ・スウェーデンは寝たきりにしないように、独立した豊かな住まいを用意。個人の福祉を重視。
- ・アメリカは、住宅を売ってシルバータウンへ移住。
- ・日本は老後が不安で、貯金に励む。住宅ローンで支える日本の資産。

□地域住宅工房の結成

・昔は施主は棟梁と相談して、棟梁が左官屋、建具屋などのとりまとめ、現在は工務店が請負い、協力業者が新建材などを用いて施工した。プレハブメーカーは独自のルートで施工を行っている。

⇒地場のグループが施工する体制に戻したい。

- ・流通グループがまとめ役となり、『地域住宅工房』を結成してほしい。
- ・住宅に資産価値がでると中古流通が活発になるが、新築は減るが、地場産業に戻っていく。

□「8畳グリッド」を基本とした間取り

MEP(埼玉県飯能)という住宅で省エネ賞を受賞。

リビング主義を改め、茶の間主義。ガラガラできる茶の間。

出窓にウィンドキャッチャー機能を加えた。"結の間"と呼ぶ余裕のつながりの間を持つ。

平成31年2月23日・24日の2日間、三重県亀山市の亀山市文化会館にて、建築士会 東海北陸ブロック会 青年建築士協議会が主催となる『平成30年度亀山大会』が開催されました。この大会は東海北陸ブロック7県で毎年、幹事県を持ち回りで年度終わりの2月頃に開催されており、各県の事業報告や研修、交流を行っています。

今回のテーマは～三つの「繋がり」が重なる三重～です。



開会式では、来賓挨拶として、開催地の亀山市長からの祝辞を頂きました



開会式に引き続き、各県報告会を行ないました。その後、関宿伝建地区の街並見学を行い、



関宿伝建地区の街並み



関宿伝建地区の街並み

その後亀山市立関中学校の施設見学を行ないました。



亀山市立関中学校 給食ホール

校舎は木造2階建とし、中庭は関宿伝建地区の街並みを模したデザインとしたそうです。



亀山市立関中学校 中庭

江戸時代からの街並みが現在も残っており、とても落ち着いた雰囲気を感じることができました。当時の使われ方や様子も現地の人から聞くことができ、貴重な体験となりました。文化財として残していく活動がこれからも続いていってほしいです。また、関宿の街並みが関中学校にも受け継がれており、通学されている生徒が羨ましく思いました。



懇親会

1 日目の最後は懇親会を行い、他県の建築士の方々と交流を深めることができました。終わりに次年度のTHB 大会についての告知を行ないました。次の開催地は愛知県ですが、愛知県が担当でなく、7 県全体での合同企画開催となります。

2 日目は関宿ワークショップとして「関宿の未来につなぐ」をテーマに市民、学生と一緒に5つのテーマに分かれて、関宿の街づくりに向けて語り合いました。



ワークショップの様子

問資料を広げて現状について確認をして実際に住まわれている方から話を聞いて、題点、解決策などまとめています。

工業高校で建築を学ぶ高校生も様々な意見を活発に発言し、それを建築士側でまとめ上げるなどを行い、



最後にその内容について全体での発表を行ないました。同じテーマについて話していてもグループごとに異なった意見がでており、出てきた案をじっくりと煮詰めていけば実現できそうなものもありました。地元の人たちや学生と意見を交わすことができ、建築士だけでは気づかないような視点を知ることができました。



全体での集合写真



静岡県参加者集合写真

普段仕事しているだけでは得られない貴重な時間となりました。江戸時代から受け継がれたもの、これからの未来に繋げていくものを考えさせられました。来年度からは7県での合同企画となるので、準備段階から他県の建築士の方と密にコミュニケーションをとっていきけるようにしていきたいと思ひます。参加した皆様、お疲れ様でした。



SHEC まちづくり会議

2019年2月11日（月・祝）

13:00 次郎長生家 視察・解説

13:45 街歩き：次郎長通り→伊豆石の蔵→志みず道
→カトリック清水教会→鉄工倶楽部

15:00 三宅理一先生の講話「和風ゴシックの成立」

16:30 街歩き：志みず道→追分→旧東海道→旧江尻宿・防災建築街区→交流会 17:30

今年の SHEC まちづくり会議は、“清水”での開催となりました。県立科学技術高校建築科の生徒 13 人を含む合計 45 人が参加しました。

江戸期は渡世人、明治期は社会事業家として活躍した清水次郎長（1820—1893）の生家が昨年、国登録有形文化財に登録されました。耐震改修・修復工事の内容を学習するとともに、清水湊の歴史とともにある生家の歴史の物語を体感しました。



次郎長生家 2階広間

江戸時代初期、42軒の廻船問屋が公認され、清水湊に面した本町、上町は問屋街が発達、物資の集積地として活況を呈していました。往年の面影を残す蔵群や小路を歩きました。



石野源七商店の蔵

清水湊と東海道を結ぶ志みず道を歩いて、カトリック清水教会をめざしました。

昭和 10 年(1935)に建てられたゴシック様式の教会堂で、銅板葺きの尖塔とスタンドガラスの窓を有し、戦災を被害なく潜り抜け凜として立っています。



カトリック清水教会

三宅理一先生のお話しは、函館元町教会を例として教会建築にみられる「和風ゴシックの成立」をテーマにしてすすめられました。

和風ゴシック建築は、19世紀フランスのネオ・ゴシックから宣教地での土着性を重んじたスタイルへ転換していったこと、畳敷きや木摺ヴォールトなどがその現われであること、司祭による設計と地元大工・工務店との共同作業により生まれたことなど、話されました。

また都市の市街地形成と深い関係があり、居留地施設(横浜、長崎、箱館)から街中の教会へと変遷したことも興味深いものでした。



三宅理一先生の講話

清水教会は礼拝堂が畳敷きです。清水大空襲にも少しの被害もなく、郊外に建ち二つの尖塔をもつ姿は、貴重な地域遺産であるといえます。

志みず道を抜け東海道へ、いまは清水銀座の防災建築街区ビルを見てまちづくり会議は終了しました。

(静岡県ヘリテージセンターSHEC 塩見 寛)



第27回全国まちづくり会議in神戸

第27回全国まちづくり会議が兵庫で開催された。これまでずっと東京だったが、地方での開催は初めて。47都道府県から114名が集まった。

場所は神戸市立御影公会堂、国の登録有形文化財に登録されている。2016年から1年間かけて耐震改修工事・バリアフリー工事を行い、現在では集会施設として利用される。施設内にある"食堂"は、建設当時から営業している老舗の洋食店として知られオムレツは人気のメニューだ。

ここは旧御影町が白鶴酒造の7代目社長加納治兵衛氏より寄付を受けて建設された。その名前を冠した白鶴ホールが今回の会場である。

本会議の議題は「まちづくりの課題とその解決へ向けての展開を探る—50年先の未来にむけて」で、地元神戸市の行政担当者にも参加していただき、阪神淡路大震災を乗り越えて取り組んできた神戸のまちづくり、被災され現在の復興に至るまでの現実味のある実体験を発表していただいた。

また全国各地域では、人口減少、少子・高齢化、産業不振といった「社会リスク」や南海トラフ地震・津波、中央構造線・活断層地震といった「自然災害リスク」も抱えている。それらの課題を解決したまちづくりを進めていくためには、過去の復興まちづくりの教訓に学び、産官学民が協働の事前復興まちづくり計画を進めていく必要がある。そのための今後の建築士会と行政との役割分担や協働の在り方を学ぶことも今回の会議の趣旨だ。

行政の方々からは、被災建築物応急危険度判定とその後の展開、景観形成重要建築物の保存活用・建築基準法の適用除外、今後の景観行政の方向性、県民参加型福祉まちづくりのチェック&アドバイス制度、ひょうご県民ユニバーサル施設、空き家対策の推進と予防・利活用・適正管理を実例として発表していただいた。その中で神戸市東灘区の岡本地区での取り組みが興味深かったので紹介したい。

岡本地区では、昭和57年9月に発足した「美しい街岡本協議会」が自分たちの街について考え、うるおい

と調和のある美しいまちづくりのため、「ガーデンタウン岡本」をキャッチコピーとして、景観まちづくりに取り組む活動を行ってきた。

なかでも「岡本版・屋外広告物ルール&ガイドライン」は地区オリジナルとして取り決めたもの。屋外広告物の最低限ルールとして、岡本という街の特徴、岡本にある素敵なお店の例をガイドラインで示し、街の雰囲気に合わせたデザインへの誘導を積極的に行っていることが特徴的だ。

空が広く開放感のある街の雰囲気を損ねないボリューム、石畳に合わせた外観、背景の六甲山を意識した計画として岡本の町の基本的な雰囲気を守り育てていくこと。看板を道ごとの特徴・雰囲気に合わせるため道幅の狭い通りでは、大きな広告物、高い位置の広告物は圧迫感を与え、空を隠してしまうので、避けること。歩いて楽しく散歩にちょうどいい街として、歩く人の視点を意識したデザインで、町並みに物語や奥行きを感じさせること。屋外広告の大きさ、位置、色、照明、文字の大きさ、文字スタイル、看板の素材感、表現方法などにも一定のガイドラインを設けて誘導している。

岡本地区のこれらのルールは、広告物の設置や建築工事のとき、事前協議を行うこととなっている。協議会の構成員は地区内に住んでいる人、働いている人、土地・建物を持っている人、事業をしている人、すべての人が協議会員で、地区全体が一丸となるような仕組みを目指しているところも特徴的だ。



神戸市立御影公会堂

景観整備機構・まちづくり委員会・藤森 輔

◆編集後記

今回もいろいろと取材に行きました。静岡空港で餃子定食を食べ、日本平まで凍えながらツーリングをし、薩埵峠でみかんを買い、十国峠でケーブルカーの最前列に乗り、前黒法師山頂でカップラーメンを食べました。バイクで行く必要はあるのかとか、山に登るのが取材なのかとか。大変だとか言っただけで自分が行きたいだけだろうと言われて、まあその通りなのですが、そうでなければやっとなっていいのですが、平成最後の刊で平成31年発行の唯一の刊でもあります。もしかするとレアな物なのかもしれません。(そんな事はないか)何回も編集長をやるとネタ切れ感も否めませんが、皆様のお出かけの参考になれば幸いです。

編集長 広報情報委員 塩見敏弘

取材協力

日本平観光組合 日本平夢テラス様
遠鉄観光開発株式会社
浜名湖オルゴールミュージアム様
富士山静岡空港株式会社様
伊豆箱根鉄道株式会社
箱根 十国峠ケーブルカー様

ご協力感謝いたします。

◆ご意見募集

静岡県建築士会広報情報委員では、広報誌「建築静岡」をより有益な情報源とするためのご意見、ご提案を募集しています。お名前、ブロック名をご記入の上、下記にて FAX でお願ひします。なお、いただきましたご意見は非公開とし、個々のご意見への直接回答は控えさせていただきます、ご了承下さい。

公益社団法人 静岡県建築士会
広報誌意見募集係 FAX 054-273-0478

広告募集中

建築静岡に広告を掲載してみませんか？

お問い合わせ先
公益社団法人 静岡県建築士会 本会事務局
電話：054-254-9381 FAX：054-273-0478
Mail:honkai@shizu-shikai.com

広告募集中

建築静岡に広告を掲載してみませんか？

お問い合わせ先
公益社団法人 静岡県建築士会 本会事務局
電話：054-254-9381 FAX：054-273-0478
Mail:honkai@shizu-shikai.com

平成31年度 一級/二級/木造建築士定期講習 開催日程

平成28年度に受講された方は、今年度受講対象です。
第2期講習の開催案内は、4月中旬(予定)に静岡県建築士会HPに掲載いたします。
開催案内の申込受付期間をご確認いただき、お申し込みください。

| | 講習日 | 場 所 | 定 員 |
|-----|---------------|--------------------------|------|
| 第2期 | 平成31年8月 7日(水) | (公社)静岡県建築士会 東部ブロック事務局 | 60名 |
| | 平成31年8月27日(火) | アクトシティ浜松 | 70名 |
| | 平成31年9月25日(水) | 静岡県男女共同参画センター あざれあ | 100名 |

会員数 平成31年3月20日現在

■正会員 1.160
■賛助会員 148
■合 計 1.308

入会者

■正会員 2名

静岡：小田 裕介 2級 S53生 梁裕建築

浜松：坂井 充明 1級 S23生 シンバヤ精機株式会社

■賛助会員 0社

物故者

■正会員 1名 ご冥福をお祈り申し上げます。

江藤 義秀(富士)

退会者

■正会員 33名

■賛助会員 2社

◆広報情報委員会

担当理事：立石昌江 (中部)
委員長：杉山真一 (中部)
副委員長：内山孝 (西部)
：鈴木忠 (東部)
委 員：塩見敏弘・三田芳之・長尾隆行 (東部)
小沼勝也・星野浩二・佐野真浩 (中部)
福田光宏・山口知己・志茂野昌歳 (西部)

編集長：塩見敏弘(2019 Spring)

発行所：公益社団法人静岡県建築士会
〒420-0857 静岡市葵区御幸町9番地の9
TEL 054-254-9381 FAX 054-273-0478
http://www.shizu-shikai.com

印刷所：(有)橋本印刷所



日本平からの清水港と富士



宝永山からの富士



出逢い岬からの戸田港



西伊豆千貫門



愛鷹山の雲海



須津川溪谷 大瀬の滝



桜満開の香貫山



西伊豆黄金崎



夕陽と水門びゅうお



奥浜名湖展望公園

まちせんアカデミー セミナー

“まちせんアカデミー セミナー”は、まちづくりセンターが持つ実績や経験を活かしたより実務的な講習会・研修会を通じて、建築に携わる皆様方に役立つ知識や情報をお届けしていきます。

実践型 省エネ計算（モデル建物法） 入力実務講習

少人数
体験型

- ☑ 5～10人程度の少人数で開催！
- ☑ ご自分のパソコンを持参いただき、実際に入力実務を学んでいきます。
- ☑ 一人一人に合わせて、まちせんアカデミーの講師が丁寧にフォローします。

講習の概要

- 参加される方にはPCをご持参いただき、サンプル建築物の図面や仕様書をもとに実際にExcelやWEBプログラム「モデル建物法入力支援ツール」（国研）建築研究所）を使用して入力実務を学びます。
- モデル建物法の概要、省エネ適判申請書類等の記載方法もご説明します。

講習時間割

- 10:00～10:30 モデル建物法の概要
 - 10:30～16:40 入力実習①(事務所)
入力実習②(ホテル)
 - 16:40～17:10 申請書類等の記載方法
- ※随時休憩をはさみます

受講料
20,000円
(税込)

2019年2月より毎月開催予定。開催スケジュール・お申込みは、まちせんホームページをご覧ください。



一般財団法人 静岡県建築住宅まちづくりセンター
まちせんアカデミー ☎ 054-202-5588

静岡まちせん

検索

<http://www.shizuoka-kjm.or.jp/>

露出型弾性固定柱脚工法
ベースパック PAT.



SC杭用 杭頭接合工法
クラウンパイルアンカー PAT.P



鉄骨梁貫通孔補強工法

OSリング One Side Ring



お問い合わせ先

okabe 岡部株式会社 ベースパック事業部
〒420-0035 静岡市葵区七間町 18-1 PIVOT 静岡 301
TEL:054-204-7282 FAX:054-204-7288
URL:<http://www.b-pack.net/>

静岡県建築関係規則集(平成30年度版)を販売のお知らせ

静岡県建築士会では、静岡県建築関係規則集(平成30年度版)を販売しております。この静岡県建築関係規則集は再版の予定が無い為、在庫限りの販売となります。

発行 公益社団法人静岡県建築士会
監修 静岡県 暮らし・環境部 建築住宅局

価格 建築士会会員 4,000円/冊(税込み) 一般 8,000円/冊(税込み)
発送も承ります。(有料) 詳細は当士会のホームページでご確認ください。

販売場所 本会事務局・各ブロック事務局

本会事務局 TEL: 054-254-9381 東部ブロック TEL: 055-939-8210
中部ブロック TEL: 054-204-6880 西部ブロック TEL: 053-451-5166